



なかしん

中小企業景況レポート

No.43 中栄信用金庫 地域支援部

2022年4月～6月実績と2022年7月～9月見込み

◆ 調査概要

調査時期 2022年6月上旬
 調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町
 調査企業数 340社
 回答企業数 322社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	94	89	94.6
卸売業	30	28	93.3
小売・飲食業	65	62	95.3
サービス業	53	48	90.5
建設業	63	61	96.8
不動産業	35	34	97.1
合計	340	322	94.7

◆ 4月～6月期の概況

～ 3期ぶりの景況感回復となるも、企業物価の上昇は続く～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断 D.I. は ▲21.0 を示し、前回調査（2022年1～3月期）に比べ 0.7 ポイントの小幅改善となりました。

世界情勢の悪化や企業物価の急激な上昇等、景気回復に向けた不安要素は存在するものの、コロナウイルス感染状況の落ち着きに伴う人流の回復により、小売・飲食業、サービス業を中心に景況感は3期ぶりに小幅改善いたしました。

また、特別調査では原油・天然ガスなどのエネルギー価格上昇により収益にどのような影響を受けているかという問いに対し約 8 割の企業が収益に影響があると回答した一方、今春従業員の賃上げを実施したかという問いに対し約 3 割の企業が実施したと回答しており、厳しい収益環境の中、政府からの賃上げ要請に対応するべく賃上げを実施した企業が一定数見受けられております。

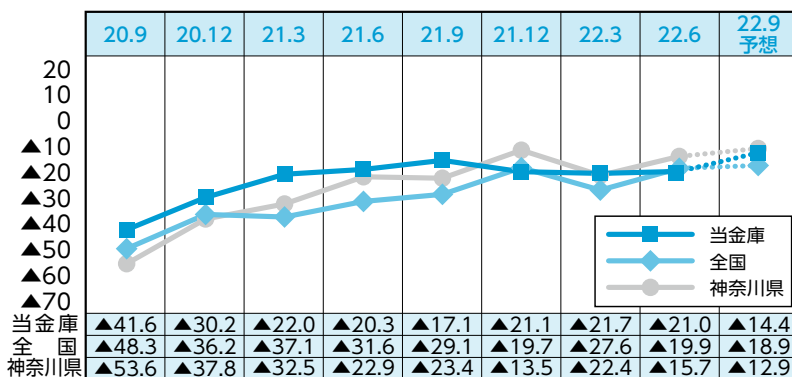
項目別にみると、売上額実績 D.I. は 19.6 ポイント改善の ▲1.2、収益実績 D.I. は 12.7 ポイント改善の ▲13.4 となっております。仕入価格 D.I. は 13.9 ポイント上昇の 74.3、人手過不足 D.I. は 1.7 ポイント不足感が弱まり ▲19.8、資金繰り D.I. は 0.7 ポイント小幅悪化の ▲16.3 となっております。また、業種別の景況感は、製造業が 5.7 ポイント改善の ▲9.0、小売・飲食業が 4.2 ポイント改善の ▲44.2、卸売業が 2.8 ポイント小幅改善の ▲17.9、建設業が 2.1 ポイント小幅改善の ▲11.5、不動産業が 5.7 ポイント悪化の 0.0、サービス業が 11.9 ポイント悪化の ▲42.5 となっております。（業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。）

なお、全国の中小企業業況判断 D.I. は 7.7 ポイント改善の ▲19.9、神奈川県内については 6.7 ポイント改善の ▲15.7 となっております。（全国と神奈川県の D.I. 値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

◆ 7月～9月期の見通し

来期の業況判断予想は 6.6 ポイント改善の ▲14.4、売上額 D.I. は 2.5 ポイント小幅改善の 1.3、収益 D.I. は 1.5 ポイント小幅改善の ▲11.9 の予想となっております。

業況判断 D.I. 値 (全業種)



全国、神奈川県の業況判断 D.I. 値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約 16,000 (うち神奈川県 約 480) の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I. 値とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

業種別景気天気図

	前期	今期	予想
総合			
製造業			
卸売業			
小売・飲食業			
サービス業			
建設業			
不動産業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調 悪い

製造業

概況

製造業の業況判断 D.I. は前回調査比 5.7 ポイント改善の▲9.0 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 14.8 ポイント改善の 0.0、収益 D.I. は 1.0 ポイント小幅悪化の▲18.0 となっております。

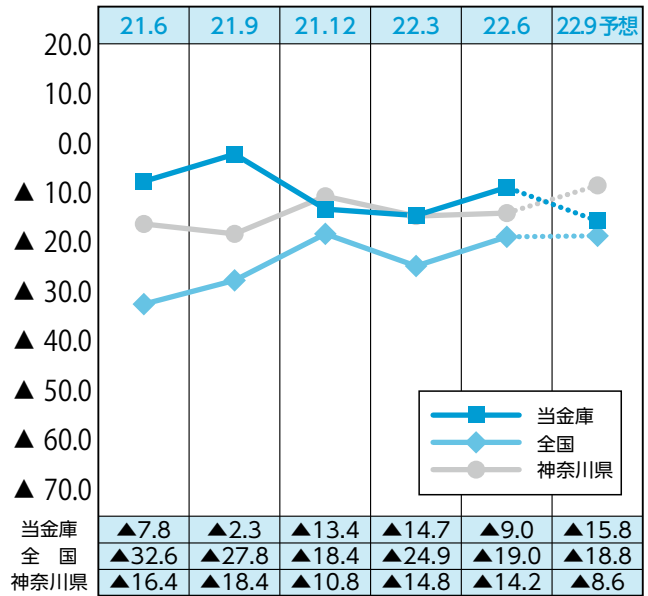
先行き不透明な状況が続く中、コロナ禍からの経済活動の回復を背景に主要取引先からの受注回復がみられたことから景況感は 2 期ぶりの改善となっております。一方で鉄やステンレスなどをはじめとする原材料価格高騰に加え、光熱費の値上げも重なり企業収益が下押しされたことから収益 D.I. は 2 期連続の悪化となっております。

自動車部品製造業では部品不足による大手メーカーの生産ライン停止に伴う影響は限定的であり、今後の重点経営施策として企業物価上昇に対応するべく経費節減すると回答した企業が多く見受けられております。

なお、全国は 5.9 ポイント改善の▲19.0 となっており、神奈川県は 0.6 ポイント小幅改善の▲14.2 となっております。

来期の予想業況判断については、6.8 ポイント悪化の▲15.8 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	27.2	30.8	42.0	D.I.
前期実績	27.2	30.8	42.0	▲14.8	
当期実績	32.5	35.0	32.5	0.0	
来期予想	23.5	46.2	30.3	▲6.8	
前年同期比	39.3	29.3	31.4	7.9	

販売価格

	前期実績	+9.0	84.2	6.8	D.I.
前期実績	+9.0	84.2	6.8	2.2	
当期実績	25.8	69.8	4.4	21.4	
来期予想	20.2	76.5	3.3	16.9	

在庫

	前期実績	13.6	78.5	7.9	D.I.
前期実績	13.6	78.5	7.9	5.7	
当期実績	16.8	69.8	13.4	3.4	
来期予想	15.7	70.9	13.4	2.3	

人手

	前期実績	+10.2	67.1	22.7	D.I.
前期実績	+10.2	67.1	22.7	▲12.5	
当期実績	11.2	69.7	19.1	▲7.9	
来期予想	12.3	63.0	24.7	▲12.4	

収益

	前期実績	19.3	44.4	36.3	D.I.
前期実績	19.3	44.4	36.3	▲17.0	
当期実績	21.3	39.4	39.3	▲18.0	
来期予想	13.4	50.7	35.9	▲22.5	
前年同期比	30.3	33.8	35.9	▲5.6	

原材料価格

	前期実績	75.0	23.9	1.1	D.I.
前期実績	75.0	23.9	1.1	73.9	
当期実績	91.0	9.0		91.0	
来期予想	77.5	22.5		77.5	

資金繰り

	前期実績	+9.1	70.3	20.6	D.I.
前期実績	+9.1	70.3	20.6	▲11.5	
当期実績	+8.9	67.6	23.5	▲14.6	
来期予想	+6.7	65.3	28.0	▲21.3	

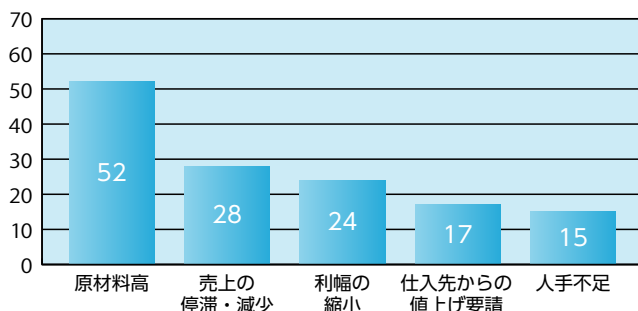
設備状況

	前期実績	+3.4	79.6	17.0	D.I.
前期実績	+3.4	79.6	17.0	▲13.6	
当期実績	1.1	79.8	19.1	▲18.0	
来期予想	1.1	78.7	20.2	▲19.1	

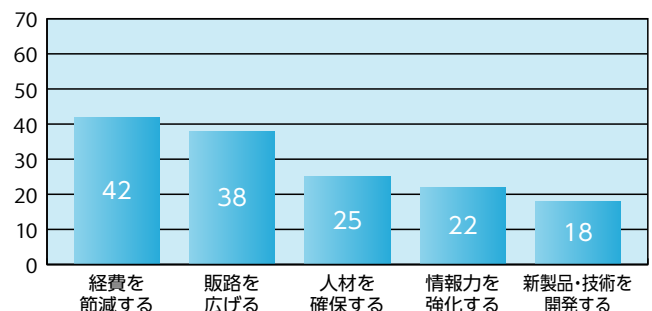
当期実績…2022年 4～6月期
来期予想…2022年 7～9月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



卸売業

●概況

卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 2.8 ポイント小幅改善の▲17.9となりました。項目別では、売上額 D.I. は 0.2 ポイント小幅悪化の▲3.6、収益 D.I. は 2.9 ポイント小幅改善の▲17.8 となっております。

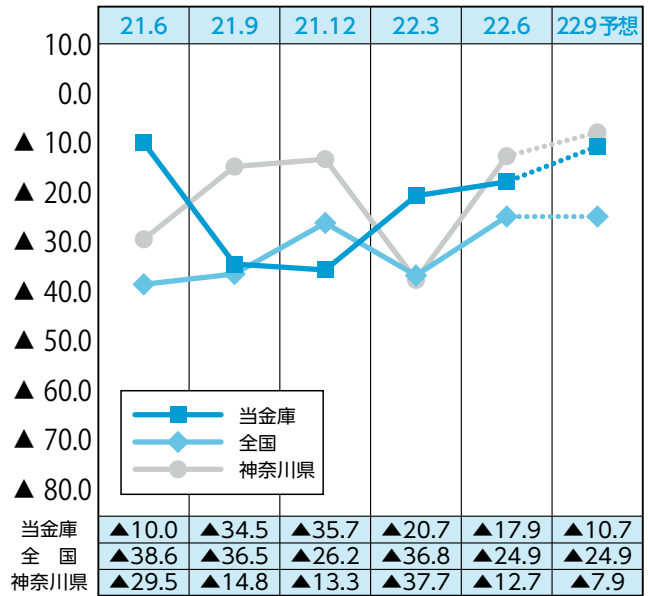
建材卸売業では鋼材を中心に材料価格の高騰が続いており、販売価格への転嫁に向けた取引先との価格交渉を進める企業が見受けられております。

食品卸売業ではコロナウイルス感染者数が減少傾向であることから、社会経済活動の活性化を見込んでいたものの売上が思うように伸びず、仕入価格及び燃料費高騰の影響を受けたことから景況感についてはマイナス域での推移となっております。

なお、全国は 11.9 ポイント改善の▲24.9 となっており、神奈川県は 25.0 ポイント改善の▲12.7 となっております。

来期の予想業況判断については、7.2 ポイント改善の▲10.7 となっております。

●業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	2022年4~6月	2022年7~9月	D.I.
前期実績	31.0	34.6	34.4	▲3.4
当期実績	28.5	39.4	32.1	▲3.6
来期予想	28.5	46.5	25.0	3.5
前年同期比	28.5	46.5	25.0	3.5

販売価格

	前期実績	2022年4~6月	2022年7~9月	D.I.
前期実績	31.0	62.2	6.8	24.2
当期実績	32.1	64.4	3.5	28.6
来期予想	42.8	53.7	3.5	39.3

在庫

	前期実績	2022年4~6月	2022年7~9月	D.I.
前期実績	+3.4	89.8	6.8	▲3.4
当期実績	+10.7	85.8	3.5	7.2
来期予想	+7.1	92.9		7.1

人手

	前期実績	2022年4~6月	2022年7~9月	D.I.
前期実績	+3.4	65.6	31.0	▲27.6
当期実績	+3.5	78.7	17.8	▲14.3
来期予想	+3.5	78.7	17.8	▲14.3

収益

	前期実績	2022年4~6月	2022年7~9月	D.I.
前期実績	20.6	38.1	41.3	▲20.7
当期実績	21.4	39.4	39.2	▲17.8
来期予想	14.2	53.7	32.1	▲17.9
前年同期比	21.4	50.1	28.5	▲7.1

仕入価格

	前期実績	2022年4~6月	2022年7~9月	D.I.
前期実績	68.9	27.7	3.4	65.5
当期実績	67.8	28.7	3.5	64.3
来期予想	53.5	43.0	3.5	50.0

資金繰り

	前期実績	2022年4~6月	2022年7~9月	D.I.
前期実績	+10.3	62.2	27.5	▲17.2
当期実績	+10.7	60.8	28.5	▲17.8
来期予想	+3.5	71.5	25.0	▲21.5

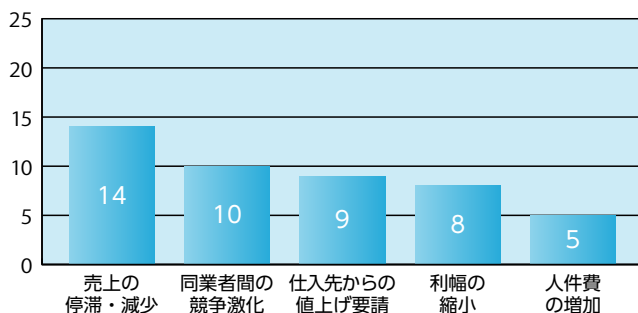
設備状況

	前期実績	2022年4~6月	2022年7~9月	D.I.
前期実績	+3.4	82.9	13.7	▲10.3
当期実績		85.8	14.2	▲14.2
来期予想		89.3	10.7	▲10.7

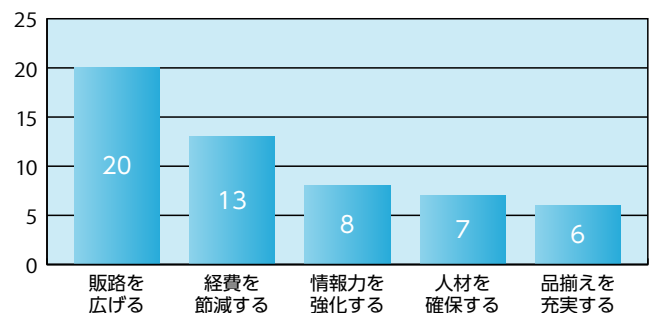
当期実績…2022年 4～ 6月期
来期予想…2022年 7～ 9月期

□ 良い、増加、上昇 過剰、楽 □ 普通、変わらず 適正 □ 悪い、減少、下降 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



小売・飲食業

概況

小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査比 4.2 ポイント改善の▲44.2 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 54.9 ポイント改善の 4.9、収益 D.I. は 43.4 ポイント改善の▲9.8 となっております。

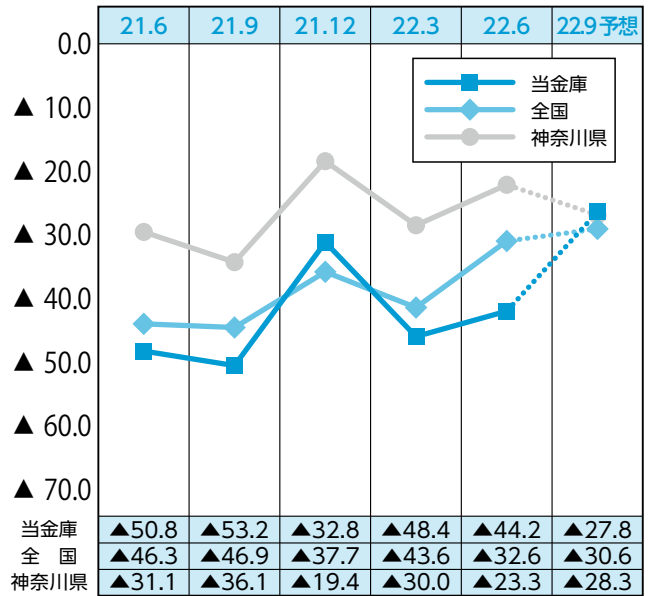
飲食店ではまん延防止等重点措置解除後の人流回復に伴い昼間の営業を中心に来店客が戻りつつあり、個人消費の持ち直しがみられております。また、食用油や小麦などの原材料価格高騰を受け、販売価格改定への取組を推し進めた企業が多くみられたことから売上額 D.I. 及び収益 D.I. は大幅な改善となっております。

今後につきましては原材料価格の高騰が引き続き予想されるなど、先行きの不透明感は拭えず景況感については引き続きマイナス域での推移となっております。

なお、全国は 11.0 ポイント改善の▲32.6 となっており、神奈川県は 6.7 ポイント改善の▲23.3 となっております。

来期の予想業況判断については、16.4 ポイント改善の▲27.8 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	+9.6	30.8	59.6	▲50.0	
当期実績	36.0	32.9	31.1	4.9	
来期予想	27.8	44.4	27.8	0.0	
前年同期比	36.0	32.9	31.1	4.9	

販売価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	12.9	79.1	8.0	4.9
当期実績	34.4	60.7	4.9	29.5
来期予想	36.0	59.1	4.9	31.1

在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	+9.6	77.5	12.9	▲3.3
当期実績	+4.9	88.6	6.5	▲1.6
来期予想	+6.5	85.4	8.1	▲1.6

人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	11.2	66.3	22.5	▲11.3
当期実績	+9.8	67.3	22.9	▲13.1
来期予想	+4.9	68.9	26.2	▲21.3

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	+8.0	30.8	61.2	▲53.2	
当期実績	26.2	37.8	36.0	▲9.8	
来期予想	19.6	42.7	37.7	▲18.1	
前年同期比	29.5	36.1	34.4	▲4.9	

仕入価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	56.4	43.6	56.4	56.4
当期実績	80.3	19.7	80.3	80.3
来期予想	65.5	32.9	1.6	63.9

資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	11.2	67.9	20.9	▲9.7
当期実績	+9.8	68.9	21.3	▲11.5
来期予想	11.4	67.3	21.3	▲9.9

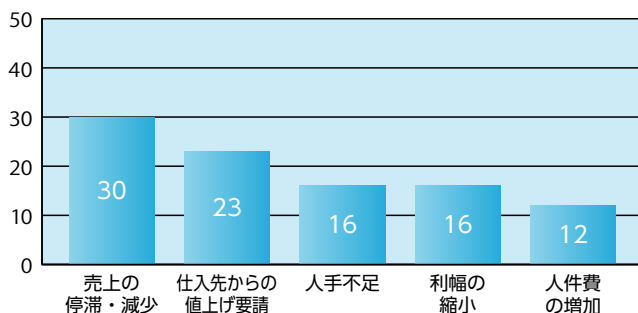
設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	+3.2	85.4	11.4	▲8.2
当期実績	+1.6	82.1	16.3	▲14.7
来期予想	+1.6	82.1	16.3	▲14.7

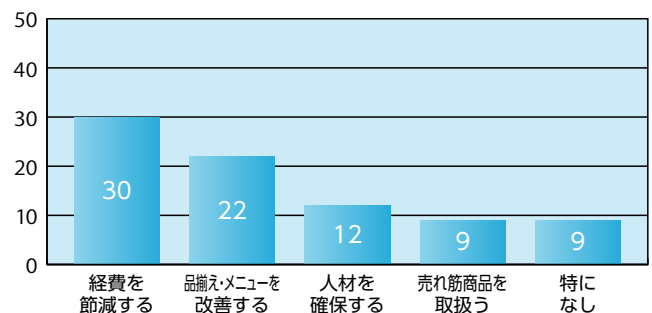
当期実績…2022年 4～6月期
来期予想…2022年 7～9月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



サービス業

●概況

サービス業の業況判断 D.I. は前回調査比 11.9 ポイント悪化の▲42.5 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 34.9 ポイント改善の 6.3、収益 D.I. は 30.3 ポイント改善の▲6.4 となっております。

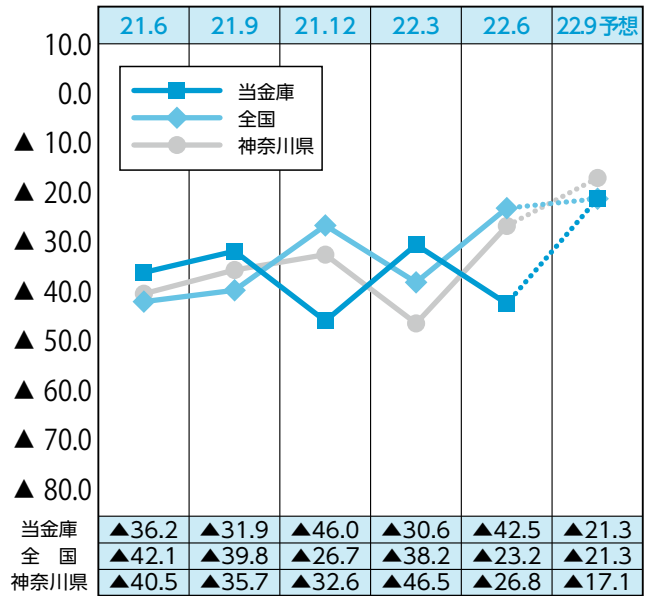
介護事業や理美容業などではコロナウイルス感染者数が減少し利用者数が戻ったことにより売上が回復傾向にあります。宿泊業では外出制限の解除に加え、県の需要喚起策が始まったことにより新規顧客獲得に繋がった企業が見受けられております。

運送業では原油高による燃料費高騰に伴い輸送コストが大幅に上昇するも運送料には十分に転嫁できておらずタイヤなどの消耗品も値上がりしていることから企業収益が下押しされ、景況感の悪化となっております。

なお、全国は 15.0 ポイント改善の▲23.2 となっており、神奈川県は 19.7 ポイント改善の▲26.8 となっております。

来期の予想業況判断については、21.2 ポイント改善の▲21.3 となっております。

●業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	2022年 4~6月	2022年 7~9月	D.I.
前期実績	18.3	34.8	46.9	▲28.6
当期実績		29.7	46.9	6.3
来期予想		23.4	59.6	6.4
前年同期比		40.4	36.2	23.4

料金価格

	前期実績	2022年 4~6月	2022年 7~9月	D.I.
前期実績	+8.1	85.8	6.1	2.0
当期実績		+8.5	87.3	4.2
来期予想		+4.2	91.6	4.2

資金繰り

	前期実績	2022年 4~6月	2022年 7~9月	D.I.
前期実績	+4.0	65.4	30.6	▲26.6
当期実績		+4.2	66.1	▲25.5
来期予想		+6.3	61.8	▲25.6

設備状況

	前期実績	2022年 4~6月	2022年 7~9月	D.I.
前期実績		77.6	22.4	▲22.4
当期実績		+4.2	72.4	▲19.2
来期予想		+4.2	72.4	▲19.2

当期実績…2022年 4～6月期
来期予想…2022年 7～9月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

収益

	前期実績	2022年 4~6月	2022年 7~9月	D.I.
前期実績	12.2	38.9	48.9	▲36.7
当期実績		25.5	42.6	▲6.4
来期予想		23.4	51.1	▲2.1
前年同期比		34.0	36.3	29.7

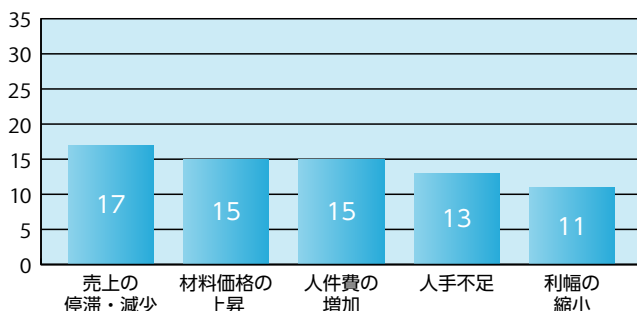
材料価格

	前期実績	2022年 4~6月	2022年 7~9月	D.I.
前期実績		43.7	56.3	43.7
当期実績		46.8	53.2	46.8
来期予想		46.8	53.2	46.8

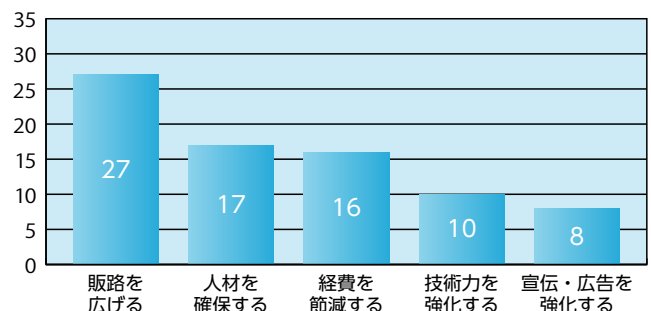
人手

	前期実績	2022年 4~6月	2022年 7~9月	D.I.
前期実績	12.2	49.1	38.7	▲26.5
当期実績		+4.2	55.4	▲36.2
来期予想		+6.3	51.2	▲36.2

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



建設業

●概況

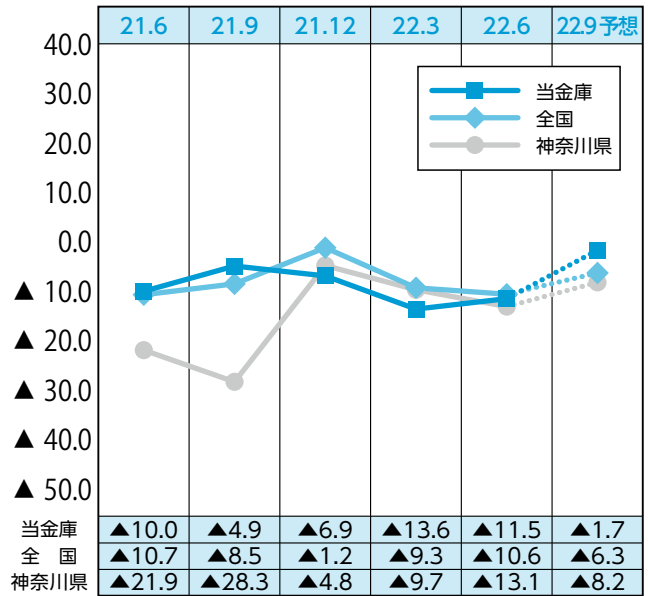
建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 2.1 ポイント小幅改善の▲11.5 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 9.5 ポイント悪化の▲18.0、収益 D.I. は 2.4 ポイント小幅改善の▲23.0 となっております。

世界情勢の悪化による木材や鋼材などの原材料価格高騰の影響は大きく、仕入・原材料価格 D.I. は大幅な上昇となっております。しかしながら、当金庫営業エリア内における不動産需要は依然強く、ハウスメーカー等の造成工事を手掛ける企業や公共工事の入札件数の増加による受注増へ繋がった企業が一定数みられたことから景況感は小幅ながら 3 期ぶりに改善となっております。

なお、全国は 1.3 ポイント小幅悪化の▲10.6 となっており、神奈川県は 3.4 ポイント悪化の▲13.1 となっております。

来期の予想業況判断については、9.8 ポイント改善の▲1.7 となっております。

●業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	20.3	50.9	28.8	D.I.
前期実績	20.3	50.9	28.8	▲8.5	
当期実績	21.3	39.4	39.3	▲18.0	
来期予想	31.1	47.6	21.3	9.8	
前年同期比	21.3	49.2	29.5	▲8.2	

請負価格

	前期実績	16.9	73.0	10.1	D.I.
前期実績	16.9	73.0	10.1	6.8	
当期実績	24.5	60.8	14.7	9.8	
来期予想	29.5	59.1	11.4	18.1	

在庫

	前期実績	+6.7	83.2	10.1	D.I.
前期実績	+6.7	83.2	10.1	▲3.4	
当期実績	+4.9	83.7	11.4	▲6.5	
来期予想	+1.6	87.0	11.4	▲9.8	

人手

	前期実績	+5.0	52.7	42.3	D.I.
前期実績	+5.0	52.7	42.3	▲37.3	
当期実績	+3.2	62.4	34.4	▲31.2	
来期予想		65.6	34.4	▲34.4	

収益

	前期実績	11.8	51.0	37.2	D.I.
前期実績	11.8	51.0	37.2	▲25.4	
当期実績	16.3	44.4	39.3	▲23.0	
来期予想	24.5	52.6	22.9	1.6	
前年同期比	19.6	41.1	39.3	▲19.7	

材料価格

	前期実績	74.5	22.2	3.3	D.I.
前期実績	74.5	22.2	3.3	71.2	
当期実績	90.1	9.9		90.1	
来期予想	72.1	27.9		72.1	

資金繰り

	前期実績	+1.6	78.1	20.3	D.I.
前期実績	+1.6	78.1	20.3	▲18.7	
当期実績	+4.9	72.2	22.9	▲18.0	
来期予想	+4.9	75.5	19.6	▲14.7	

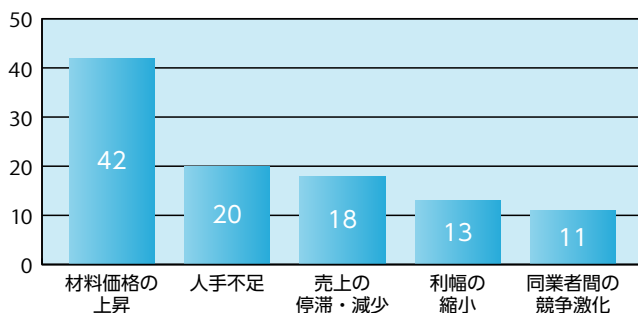
設備状況

	前期実績	+1.6	95.1	3.3	D.I.
前期実績	+1.6	95.1	3.3	▲1.7	
当期実績	+3.2	93.6	3.2	0.0	
来期予想	+1.6	96.8	1.6	0.0	

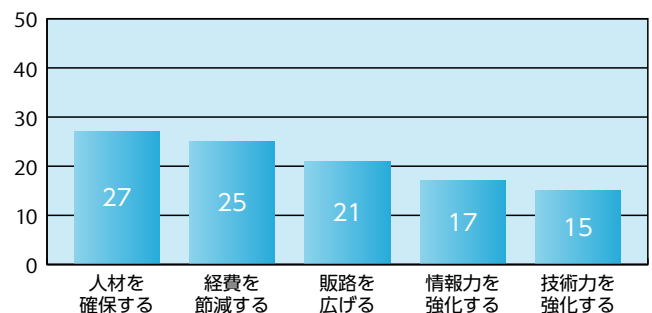
当期実績…2022年 4～6月期
来期予想…2022年 7～9月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



不動産業

●概況

不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 5.7 ポイント悪化の 0.0 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 14.5 ポイント改善の 6.0、収益 D.I. は 5.5 ポイント悪化の 3.0 となっております。

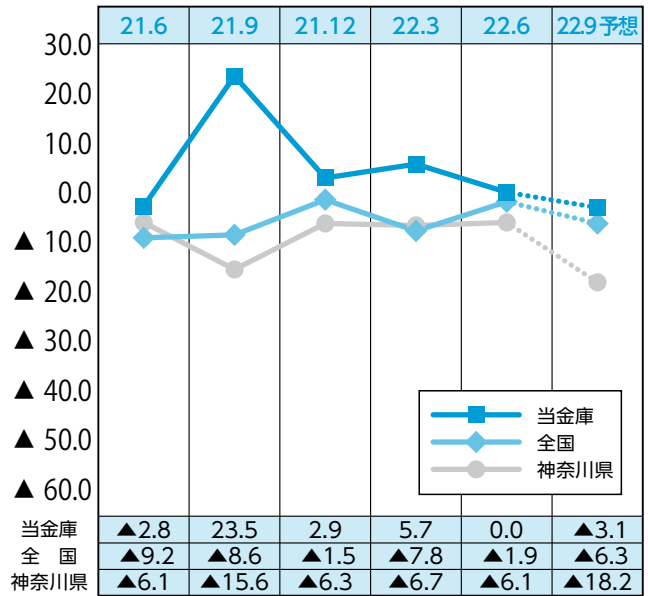
当金庫の営業エリア内における商品販売状況は不動産需要が依然高い水準で推移していることから好調を維持しており、売上額 D.I. の改善となっております。一方商品物件仕入において不足感は一層強くなっており、経営上の問題点として約 7 割の企業が商品物件の不足を挙げております。

今後につきましては、企業間での情報共有を強化することで商品仕入方法の見直しを図る企業が見受けられております。

なお、全国は 5.9 ポイント改善の ▲1.9 となっており、神奈川県は 0.6 ポイント小幅改善の ▲6.1 となっております。

来期の予想業況判断については、3.1 ポイント悪化の ▲3.1 となっております。

●業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	20.0	51.5	28.5	D.I.
当期実績	36.3	33.4	30.3	6.0	
来期予想	24.2	51.6	24.2	0.0	
前年同期比	24.2	30.4	45.4	▲21.2	

販売価格

	前期実績	20.0	71.5	8.5	D.I.
当期実績	27.2	63.8	9.0	18.2	
来期予想	21.2	69.8	9.0	12.2	

在庫

	前期実績	2.8	45.8	51.4	D.I.
当期実績	3.0 <td>27.4</td> <td>69.6</td> <td>▲66.6</td>	27.4	69.6	▲66.6	
来期予想	3.0 <td>30.4</td> <td>66.6</td> <td>▲63.6</td>	30.4	66.6	▲63.6	

人手

	前期実績	2.8	71.5	25.7	D.I.
当期実績	75.8	24.2	▲24.2		
来期予想	75.8	24.2	▲24.4		

収益

	前期実績	28.5	51.5	20.0	D.I.
当期実績	36.3	30.4	33.3	3.0	
来期予想	24.2	45.5	30.3	▲6.1	
前年同期比	18.1	48.6	33.3	▲15.2	

仕入価格

	前期実績	37.1	60.1	2.8	D.I.
当期実績	45.4	45.6	9.0	36.4	
来期予想	45.4	45.6	9.0	36.4	

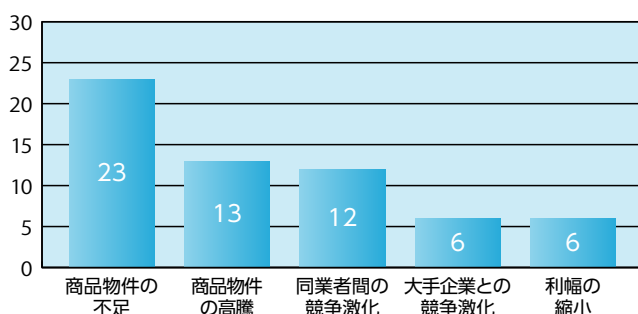
資金繰り

	前期実績	2.8	80.1	17.1	D.I.
当期実績	87.9	12.1	▲12.1		
来期予想	87.9	12.1	▲12.1		

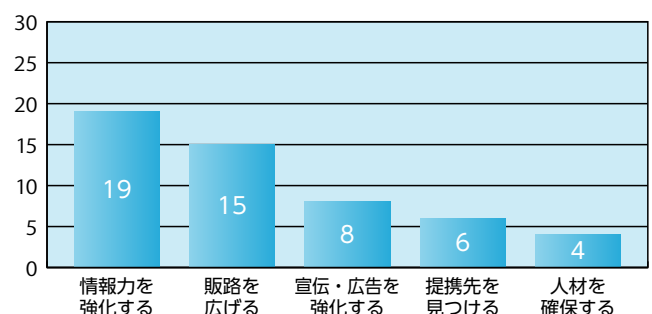
当期実績…2022年 4～6月期
来期予想…2022年 7～9月期

□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



当金庫のお客様 340 社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問1. 貴社における今期（4～6月）の売上は、仮に新型コロナウイルスの影響がなかった場合（例年の4～6月）と比較してどの程度売上に影響がありましたか。あてはまるものを1つ選んでお答えください。

- | | | | |
|-------------------------------------|-----|--|------|
| <input type="radio"/> 90%以上の減少 | 0社 | <input type="radio"/> ほぼ変化なし（10%未満の増減） | 129社 |
| <input type="radio"/> 70%以上90%未満の減少 | 4社 | <input type="radio"/> 10%以上30%未満の増加 | 34社 |
| <input type="radio"/> 50%以上70%未満の減少 | 16社 | <input type="radio"/> 30%以上の増加 | 4社 |
| <input type="radio"/> 30%以上50%未満の減少 | 35社 | | |
| <input type="radio"/> 10%以上30%未満の減少 | 93社 | | |

問2. 貴社における次期（7～9月）の売上は、仮に新型コロナウイルスの影響がなかった場合（例年の7～9月）と比較してどの程度売上に影響があると考えられますか。あてはまるものを1つ選んでお答えください。

- | | | | |
|-------------------------------------|-----|--|------|
| <input type="radio"/> 90%以上の減少 | 0社 | <input type="radio"/> ほぼ変化なし（10%未満の増減） | 140社 |
| <input type="radio"/> 70%以上90%未満の減少 | 6社 | <input type="radio"/> 10%以上30%未満の増加 | 35社 |
| <input type="radio"/> 50%以上70%未満の減少 | 10社 | <input type="radio"/> 30%以上の増加 | 2社 |
| <input type="radio"/> 30%以上50%未満の減少 | 24社 | | |
| <input type="radio"/> 10%以上30%未満の減少 | 97社 | | |

問3. 貴社では、最近の原油・天然ガスなどのエネルギー価格上昇により収益にどのような影響を受けていますか。あてはまるものを1つ選んでお答えください。

- | | | | |
|----------------------------------|------|---------------------------------|----|
| <input type="radio"/> 危機的な悪影響がある | 6社 | <input type="radio"/> 全く影響はない | 5社 |
| <input type="radio"/> かなり悪影響がある | 77社 | <input type="radio"/> むしろ好影響がある | 0社 |
| <input type="radio"/> 多少悪影響がある | 166社 | <input type="radio"/> わからない | 8社 |
| <input type="radio"/> ほとんど影響はない | 52社 | <input type="radio"/> その他 | 1社 |

問4. 政府から賃上げの要請がされている中貴社では、今春賃上げを実施しましたか。実施した場合には「実施した理由」の内あてはまるものを1つ、実施していない場合には「実施しなかった理由」の内あてはまるものを1つ選んでお答えください。

賃上げを実施した理由

- | | |
|--|-----|
| <input type="radio"/> 従業員の待遇改善 | 7社 |
| <input type="radio"/> 自社の業績改善を反映 | 12社 |
| <input type="radio"/> 同業他社、地域他社の賃上げを反映 | 8社 |
| <input type="radio"/> 政府からの賃上げ要請 | 67社 |
| <input type="radio"/> その他 | 5社 |

賃上げを実施しなかった理由

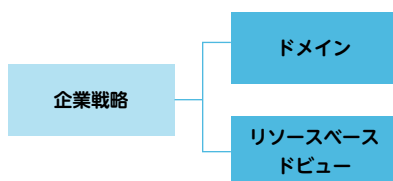
- | | |
|-------------------------------------|-----|
| <input type="radio"/> 景気の見通しが不透明 | 39社 |
| <input type="radio"/> 自社の業績を反映 | 77社 |
| <input type="radio"/> 既に賃上げを実施済み | 60社 |
| <input type="radio"/> 賃上げを検討したことがない | 29社 |
| <input type="radio"/> その他 | 7社 |

問5. 貴社では、コロナウイルスの影響を受けて、事業承継（M&Aを含む）についての考え方に変化はありましたか。あてはまるものを1つ選んでお答えください。

- | | | | |
|-------------------------------------|------|--|------|
| <input type="radio"/> 事業承継の方法に変更はない | 135社 | <input type="radio"/> 事業承継予定だったが、廃業を検討する | 2社 |
| <input type="radio"/> 事業承継の検討を始めた | 28社 | <input type="radio"/> 事業承継予定だったが、予定を白紙に戻した | 0社 |
| <input type="radio"/> 事業承継の時期を早める | 5社 | <input type="radio"/> 廃業予定だったが、事業を継続する | 0社 |
| <input type="radio"/> 事業承継の時期を遅くする | 6社 | <input type="radio"/> 事業承継について考えたことがない | 120社 |
| <input type="radio"/> 事業承継の後継者を変更する | 0社 | <input type="radio"/> その他 | 12社 |

経営のポイント! 『経営戦略④』

前回、経営戦略の3つの階層（企業戦略、事業戦略、機能別戦略）について考えてみました。今回は、企業戦略を策定するうえで大事な考え方である「ドメイン」について考えてみたいと思います。



連載のなかで、企業戦略は企業が長期にわたり持続的成長を続けていくための戦略と書きました。その戦略を立てるためには、企業として「どのような事業展開（領域）としていくか（ドメイン）」、また、有限である経営資源を「どう配分するか（リソースベースドビュー）」を決定していくことが必要となります。

ドメインの設定範囲は、狭すぎると顧客のニーズに応えることが難しく、広すぎると経営資源の分散になり適切な範囲で設定することが必要となります。また、ドメインは環境変化に応じて変化させていく必要があります。現在のように、環境の変化が激しい中においては、自社の事業展開を再構築することが求められているのではないのでしょうか。事業の再構築において活用できる補助金もございますので、お近くの中栄信用金庫までお気軽にお問い合わせください。